

令和五年度 大学院人文科学府修士課程第1期入学試験問題
(国語学・国文学)

- 一 別紙Aの影印を全文翻字せよ。(二〇点)
- 二 別紙Bの記事について日本語学的観点から分析を加えよ。(二〇点)
- 三 次の事項について知るところを記せ。(四〇点)
 - (1) 和漢朗詠集
 - (2) 山東京伝
 - (3) 使役
 - (4) 万葉仮名
- 四 次の問いに答えよ。(二〇点)
 - (国文学) いわゆる元祿文学について、知るところを述べよ。
 - (国語学) 日本語史における中世の特徴について、具体例を示しながら説明せよ。

※解答は縦書きにすること。

令和五年度 大学院人文科学府修士課程第1期入学試験問題
(国語学・国文学)

別紙 A

Handwritten text in Arabic script, consisting of approximately 12 lines of cursive script. The text is written in black ink on a white background. The script is dense and fluid, characteristic of modern Arabic calligraphy. The lines are roughly horizontal, with some variations in length and spacing between them. The overall appearance is that of a handwritten response to a question.

一般の話しことばに用ゐる存在動詞の活用

○この国語には多数の存在動詞がある。その中には尊敬するものがあり、軽蔑するものがあり、又無生物に対して用ゐるものがある。それらはすべて単純動詞か助辞の De (で)、Nite (にて) を伴った複合動詞かであって、前者は、有る・在るの意、又あるものは行く・来るの意を持ち、後者は、であるの意を持つ。何れも動詞の第二種活用に従って活用する。ただ Sōrō (候) 及び欠陥動詞の Sō (候) は例外である。その‘候’の特有な活用はそれだけを後に示さう。また Nai (ない) はその複合動詞と共に Fucai (深い) と同じやうに活用する。同じく又 Saburō (候) も例外であって、第三種活用に従ふ。存在動詞の活用だけをここに収めるやうに私が決意した理由は、この動詞には特別な点がいくらか有り、又この外の活用に於いてこの動詞を使ふのに甚だ必要であり、更にまた話しことばではあらゆる場合に用ゐられるからである。

| 有る・在るの意を示すもの | であるの意を示すもの |
|------------------------|------------------------------|
| ○Aru (ある)。 | Nitearu (にてある)。 |
| Vogiaru (おぢやる)。 | De aru (である)。 |
| Yru (居る)。 | De vogiaru (でおぢやる)。 |
| Gozaru (御座る)。 | Nite gozaru (にて御座る)。 |
| Naru (なる)。 | De voriaru (でおりやる)。 |
| Maximasu (まします)。 | Nite maximasu (にてまします)。 |
| Vouaximasu (おはします)。 | Nite vouaximasu (にておはします)。 |
| Voriaru (おりやる)。 | Denai (でない)。 |
| Nai (ない)。 | De vorinai (でおりない)。 |
| Vorinai (おりない)。 | De gozanai (で御座ない)。 |
| Gozanai (御座ない)。 | De sōrō, l, soro (で候、又は、そろ)。 |
| Saburō (候ふ)。 | De sō (で候)。 |
| Fanberu (はんべ) (持つ)。 | Vataraxe tamō (わたらせ給ふ)。 |
| Nari (なり)。欠陥動詞。 | Imaso cariqueri (いまそかりけり)。 |
| Sōrō (候)、又は、soro (そろ)。 | Masu(ます)、即ち Maximasu(まします)。 |
| Sō (候)。 | Arazu (あらず)。欠陥動詞。 |

Zōrō (候ふ)、又は、Soro(そろ)。

○「論語」(Rongo) その他道徳の書には、Maximasu(まします)の代りに Masu(ます)を使ったものがしばしば見られる。例、Chichi masutoquinba, sono cocorozaxiuo mi, chichi botxinurutoquinba, sono cōuo miru.^{<1>}(父ます時んば、その志を觀、父没しぬる時んば、その行を觀る。)「論語」(Rongo) 卷一

‘道心者’ (Dōxinjas) のものには Imaso cariqueri (いまそかりけり) の語が見られる。例、Mucaxi Sōgaxōnintoyūfito imaso cariqueri. (昔雜賀聖人といふ人いまそかりけり。)「西行」(Saiguio)^{<2>} 卷一

○Zai (在) は yru (居る) 意の‘こゑ’であって、為るといふ意の動詞の或もの、又他の‘こゑ’の語の或ものと複合して存在動詞の代りをする。Yru (居る) 意の Quio (居) に就いても同様の事が言へる。例へば、Zairacu suru (在洛する)。「都」(Miaco)に居る意。Zaiquio^{<3>} suru (在京する)。前と同義。Zaicocu itasu (在国致す)。Zaigin itasu (在陣致す)。Zaixo itasu (在所致す)。家に居る意。Zaiquio itasu (在居致す)。或場所に居る意。Quio suru (居する)。住む、又は、居る意。

○又、Aru (有る) 意の‘こゑ’の V (有) 及び同じく Nai (無い) 意の‘こゑ’の Mu (無) は名詞の‘こゑ’の語と複合し、否定の欠陥動詞 Arazu (非ず) の意の Fi (非) も亦同様である。例へば、Vjō fijō (有情非情)。Vsō (有相)。Musō (無相)。これらの語は生命のあるもの、生命のないもの、形のあるもの、形のないものを意味する。

<1> 父在觀其志父没觀其行。botxi は boxxi が正しい。cōuo は cōuo の誤。
<2> Saiguio の誤植。西行の著書「撰集抄」を指す。 <3> Zaiquio であらう。